

リヤサスペンション

目 次

整備基準値	2	アッパーアームAss'y	6
給油脂	2	トレーリングアームAss'y	8
特殊工具	2	ロワーアームAss'y・ トーコントロールアームAss'y	9
車上整備	3	ショックアブソーバーAss'y	12
1. ホイールアライメントの点検・調整	3	スタビライザーバー	15
2. ボールジョイントダストカバーの交換	3		
リヤサスペンションAss'y	4		



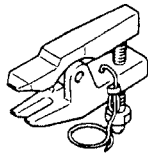
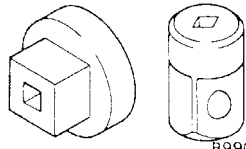
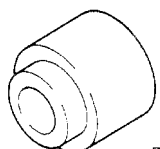
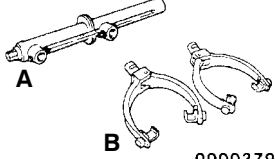
整備基準値

項目		標準値
トーイン mm		3 ± 3
キャンバー	2WD, 4WD (VR-4)	-1° 00' ± 30' (左右差30'以内)
	4WD (除く VR-4)	-0° 50' ± 30' (左右差30'以内)
スラスト角		0° ± 9'
トーコントロールアームボールジョイント回転トルク Nm {kgfcm}		1.0～2.6 {10～27}
スタビライザーリンクボールジョイント回転トルク Nm {kgfcm}		0.5～1.5 {5～15}

給油脂

項目	銘柄	容量
トーコントロールアームボールジョイントダストカバー内部及びリップ部	二硫化モリブデン系シャシーグリース: 昭和シェル石油サンライトMB2, 日石クラ ノックFL又は相当品	適量
スタビライザーリンクボールジョイントダストカバー内部	昭和シェル石油バリエントR-2又は相当品	

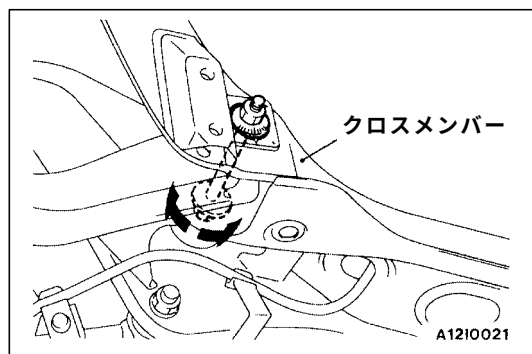
特殊工具

工具	番号	名称	用途
 B991113	MB990635, MB991113又は MB991406	ステアリングリン ケージプラー	ボールジョイントとナックルの切離し
 B990326	MB990326	プレロードソケット	ボールジョイントの回転起動トルクの測定
 B990800	MB990800	ボールジョイントリ ムーバー&インス トラー	ボールジョイントダストカバーの圧入
 A B 00003796	A: MB991237 B: MB991239	A: スプリングコン プレッサー ボデー B: アームセット	コイルスプリングの圧縮

車上整備

1. ホイールアライメントの点検・調整

- (1) ホイールアライメント測定の前にリヤサスペンション、ホイール・タイヤを正常な状態に整備する。
- (2) 車両を水平な場所に止め、ホイールアライメントを測定する。



1-1 トーイン

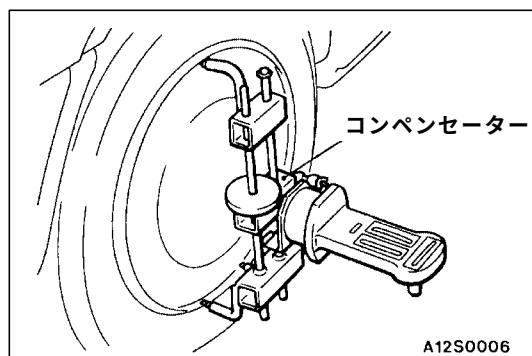
標準値: $3 \pm 3 \text{ mm}$

調整はトーコントロールアーム取付けボルトを左右同量ずつ回して行う。

左側: 後方から見て時計まわりがトーアウト方向

右側: 後方から見て時計まわりがトーイン方向

なお、1目盛りにつき約2.5 mmトーが調整できる。



1-2 キャンバー

標準値:

<後WD, 4WD (VR-4)> $-1^{\circ}00' \pm 30'$ (左右差30'以内)

<4WD (除くVR-4)> $-0^{\circ}50' \pm 30'$ (左右差30'以内)

備考

- (1) キャンバーはあらかじめ標準値に設定されたもので非調整式である。
- (2) アルミホイール装着車はコンペンセーターを使用してキャンバーを測定する。

2. ボールジョイントダストカバーの交換

- (1) ダストカバーにき裂又は損傷がないか、ダストカバーを指で押して点検する。
- (2) ダストカバーにき裂又は損傷がある場合は、トーコントロールアームAss'y又はスタビライザーリンクを交換する。

備考

ダストカバーにき裂又は損傷がある場合は、ボールジョイントの損傷につながる可能性がある。

リヤサスペンションAss'y

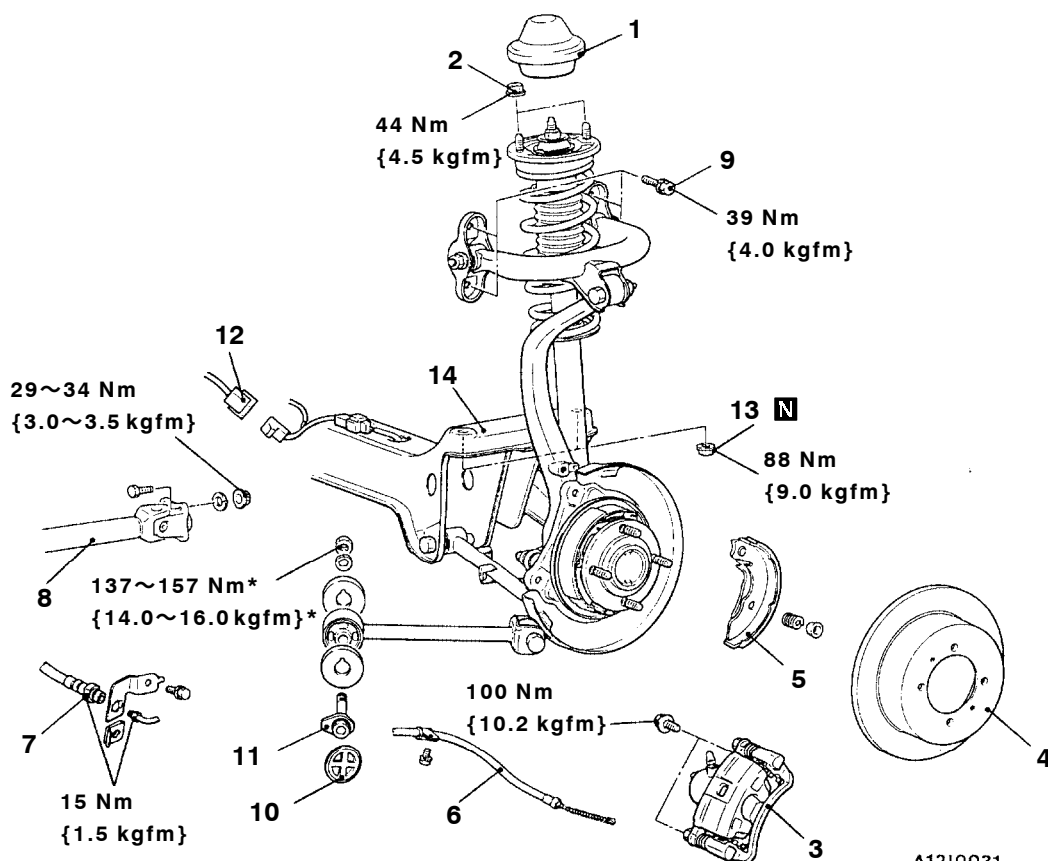
取外し・取付け

取外し前の作業

- ブレーキフルードの抜取り
＜ドラムブレーキ装着車＞
- リヤシートの取外し＜セダン＞（グループ52A参照）
- リトラクタートリムの取外し＜ワゴン＞
（グループ52A参照）
- センターエキゾーストパイプの取外し
（グループ15参照）

取付け後の作業

- センターエキゾーストパイプの取付け
（グループ15参照）
- リトラクタートリムの取付け＜ワゴン＞
（グループ52A参照）
- リヤシートの取付け＜セダン＞（グループ52A参照）
- パーキングブレーキペダルの踏みしろ点検・調整
（グループ36 – 車上整備参照）
- ブレーキフルードの注入及びエア抜き＜ドラムブレーキ装着車＞（グループ35A – 車上整備参照）
- ホイールアライメントの点検・調整（P34-3参照）



A1210031

取外し手順

1. キャップ
2. ショックアブソーバー取付けナット
3. キャリパーAss'y
4. ブレーキドラム又はブレーキディスク
5. シュー&ライニングAss'y（グループ36 – パーキングブレーキ参照）
6. パーキングブレーキケーブルの接続
（グループ36参照）
7. ブレーキラインの接続
＜ドラムブレーキ装着車＞

8. プロペラシャフトの接続＜4WD＞
9. アップパーアーム取付けボルト
10. グロメット
11. トレーリングアーム取付けボルト
12. リヤ車輪速センサーコネクタの接続
13. クロスメンバー取付けナット
14. リヤサスペンションAss'y

注意

*印の締付け箇所は仮締めした後、車両を接地し、空車状態で本締めすること。

取外しの要点

◀A▶ キャリパーAss'yの取外し

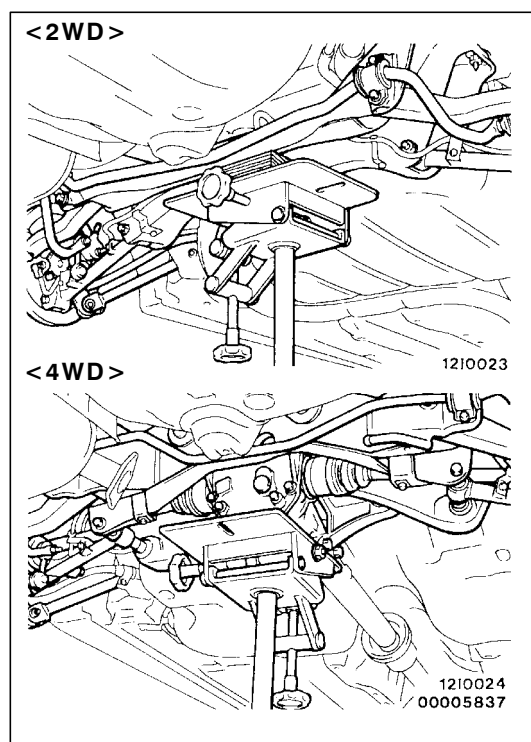
取外したキャリパーAss'yは針金等で落下しないように保持しておく。

◀B▶ プロペラシャフト <4WD> の切離し

1. ディファレンシャルキャリアのコンパニオンフランジとプロペラシャフトのフランジヨークに合わせマークを付ける。
2. ディファレンシャルキャリアとプロペラシャフト取付けボルト、ナットを取外す。
3. 切離したプロペラシャフトをジョイント部が折れ曲がらないように針金等で保持しておく。

◀C▶ リヤ車輪速センサーコネクターの切離し

4WDはクロスメンバー取付けナットを取外し、リヤ車輪速センサーコネクターの切離しが行える位置までクロスメンバーを下げてからリヤ車輪速センサーコネク터를切離す。



◀D▶ クロスメンバー取付けナットの取外し

2WDはクロスメンバーを、4WDはディファレンシャルケースをそれぞれガレージジャッキ又はトランсмисシヨンジヤッキ等で保持してからクロスメンバー取付けナットを取外す。

取付けの要点

▶A◀ プロペラシャフト <4WD> の接続

ディファレンシャルキャリアとプロペラシャフトの合わせマークを合わせて取付ける。

注意

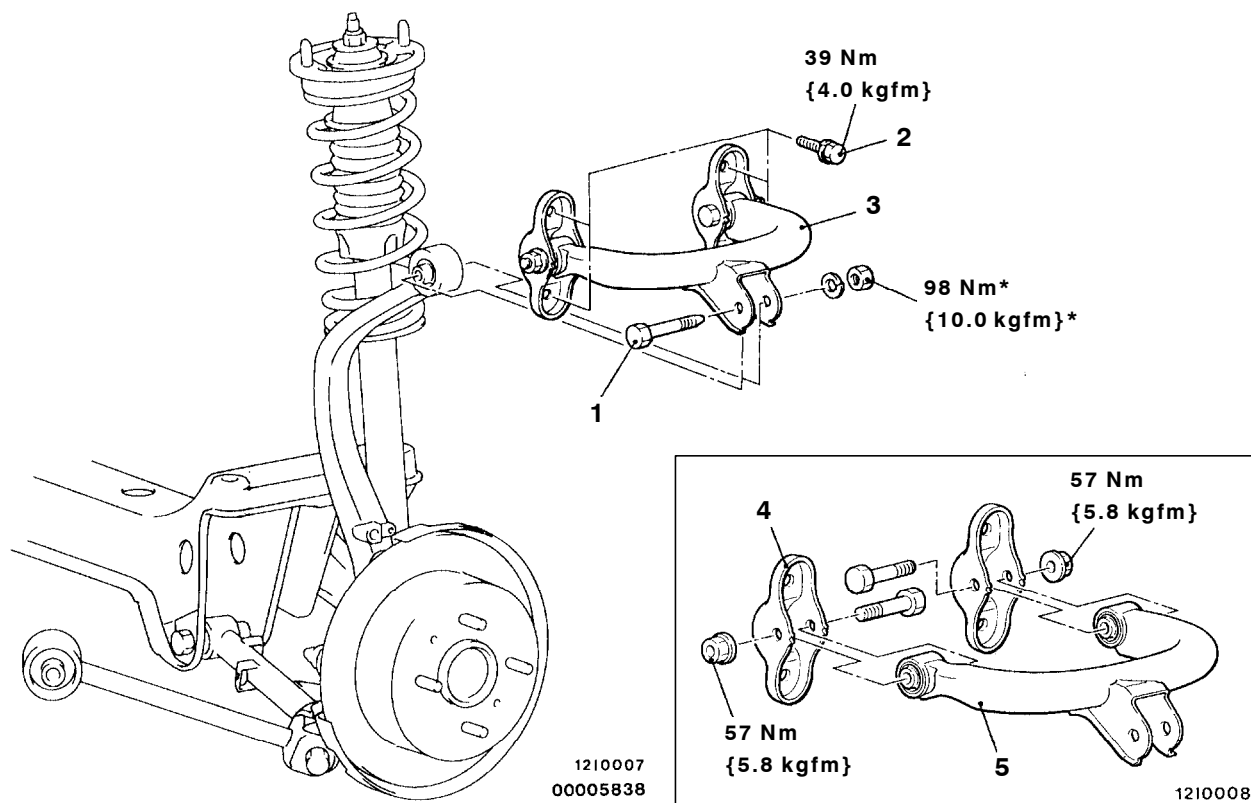
取付けボルト及びナットのねじ部にオイル、グリース等が付着していると、緩む恐れがあるので、ねじ部を脱脂してから締付けること。

アッパーアームAss'y

取外し・取付け

取付け後の作業

ホイールアライメントの点検・調整 (P.34-3参照)

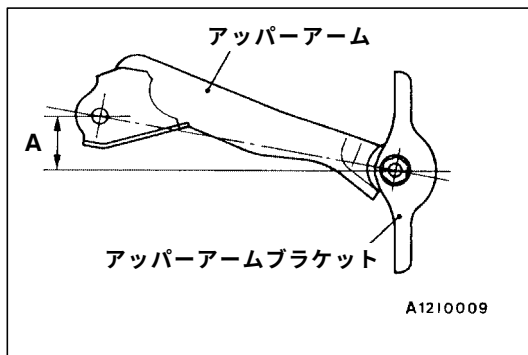


取外し手順

1. アッパーアームとナックルの接続
2. アッパーアーム取付けボルト
3. アッパーアームAss'y
- ▶A◀ 4. アッパーアームブラケット
5. アッパーアーム

注意

*印の締付け箇所は仮締めした後、車両を接地し、空車状態で本締めすること。



取付け要点

▶A◀ アッパーアームブラケットの取付け

図示寸法が標準値となるようにアッパーアームブラケットを取付ける。

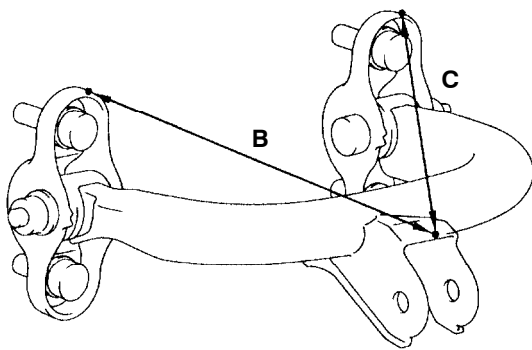
標準値 (A) : $37.2 \pm 2 \text{ mm}$

備考

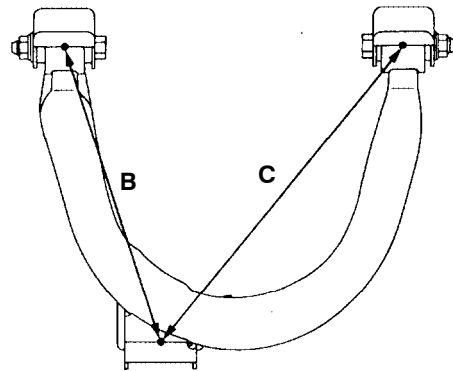
アッパーアームブラケットが上記の標準値で取付けられている場合、基準寸法は下記のようなになる。

B: 220.1 mm

C: 274.4 mm



1210010



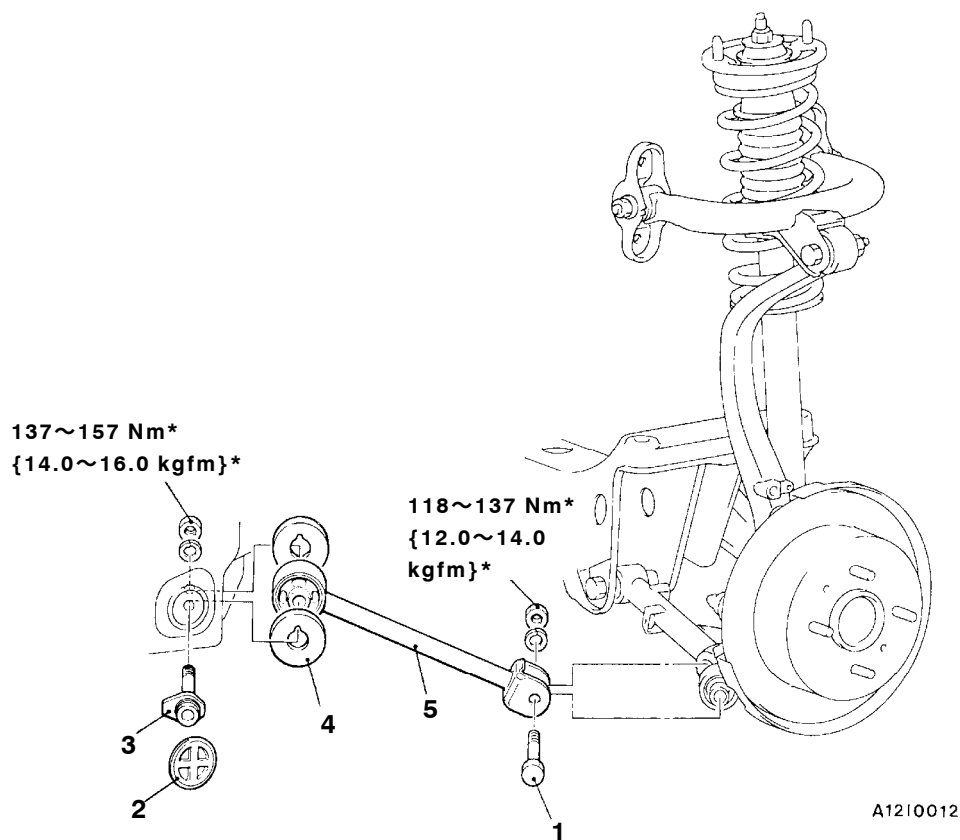
1210011
00005839

トレーリングアームAss'y

取外し・取付け

取付け後の作業

ホイールアライメントの点検・調整 (P.34-3参照)



取外し手順

1. トレーリングアームとナックルの接続
2. グロメット
3. トレーリングアーム取付けボルト
4. ストッパー
5. トレーリングアームAss'y

注意

*印の締付け箇所は仮締めした後、車両を接地し、空車状態で本締めすること。

ロワーアームAss'y・トーコントロールアームAss'y

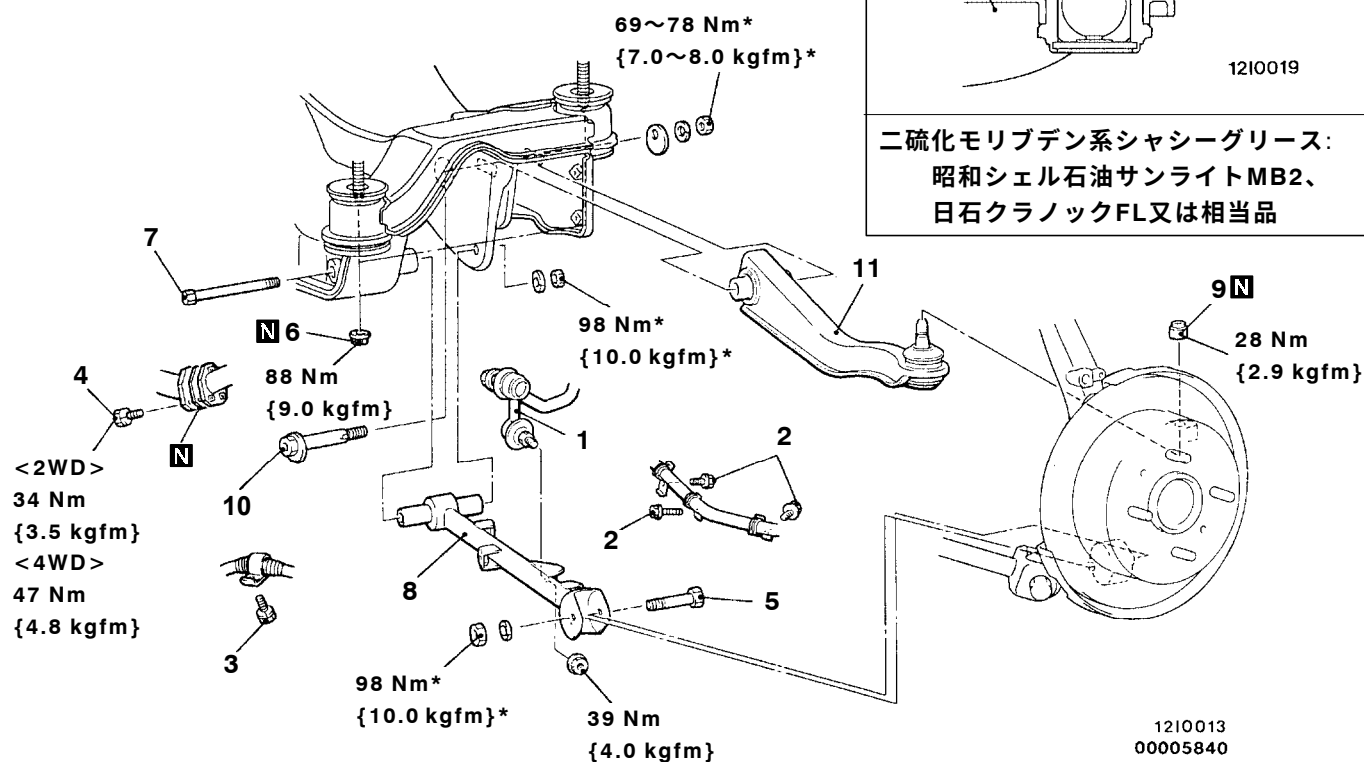
取外し・取付け

取外し前の作業

プロペラシャフトの切離し <4WD> (P.34-4参照)

取付け後の作業

- ダストカバーにき裂又は損傷がないか、ダストカバーを指で押して点検する。
- プロペラシャフトの接続 <4WD> (P34-4参照)
- ホイールアライメントの点検・調整 (P34-3参照)



ロワーアームAss'yの取外し手順

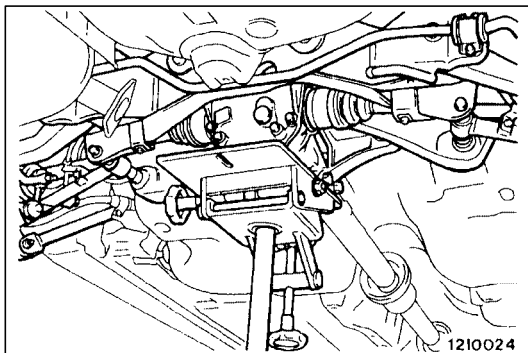
1. スタビライザーリンクの接続
2. 車輪速センサー取付けボルト
3. パーキングケーブル取付けボルト
<4WD>
4. メーンマフラーとセンターエキゾーストパイプの接続 <4WD>
5. ロワーアームとナックルの接続
6. クロスメンバー取付けナット
<4WD>
7. ロワーアームAss'y取付けボルト
8. ロワーアームAss'y

トーコントロールアームAss'yの取外し手順

9. トーコントロールアームとナックルの接続
10. トーコントロールアームAss'y取付けボルト
11. トーコントロールアームAss'y

注意

*印の締付け箇所は仮締めした後、車両を接地し、空車状態で本締めすること。



取外しの要点

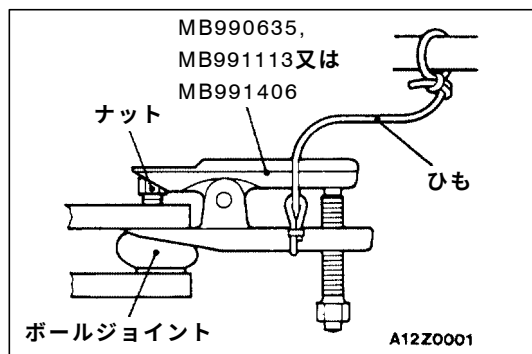
◀A▶ クロスメンバー取付けナット <4WD> の取外し

1. ディファレンシャルケースをガレージジャッキ又はトランスミッションジャッキ等で保持してからクロスメンバー取付けナットを取外す。
2. ローアームAss'y取付けボルトが取外せる位置までクロスメンバーを下げる。

◀B▶ トーコントロールアームとナックルの切離し

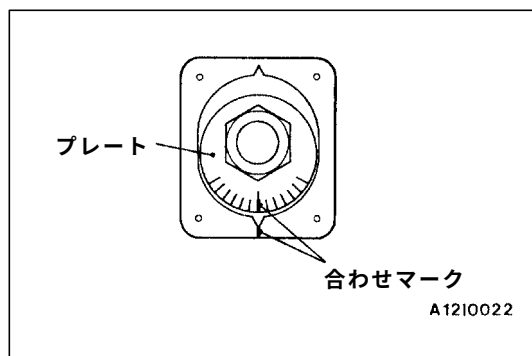
注意

1. ナットはボールジョイントから取外さずに、緩めるだけにしており特殊工具を使用すること。
2. 脱落防止のため、特殊工具をひもで吊っておくこと。



◀C▶ トーコントロールアームAss'y取付けボルトの取外し

クロスメンバーとプレートに合わせマークを付けてから取外す。



点検

1. トーコントロールアームボールジョイント回転トルクの点検

- (1) トーコントロールアームボールジョイントのスタッドを数回揺動させた後、スタッドにナットを取付け、特殊工具を使用してトーコントロールアームボールジョイントの回転トルクを測定する。

標準値: 1.0～2.6 Nm {10～27 kgfcm}

- (2) 測定値が標準値を超える場合は、トーコントロールアームAss'yを交換する。
- (3) 測定値が標準値未満の場合は、トーコントロールアームボールジョイントにがたやごりごり感がなければ使用可能と判断する。

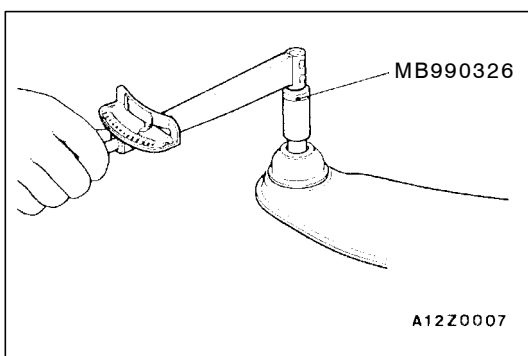
2. トーコントロールアームボールジョイント ダストカバーの点検

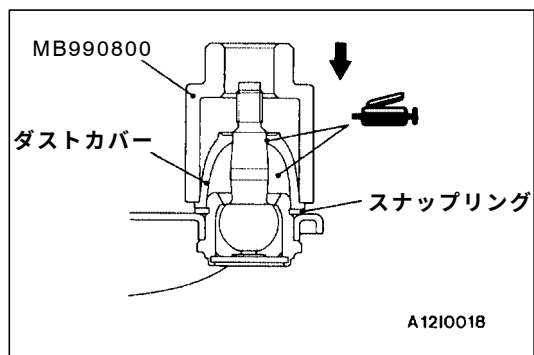
- (1) ダストカバーにき裂又は損傷がないか、ダストカバーを指で押して点検する。
- (2) ダストカバーにき裂又は損傷があればトーコントロールアームAss'yを交換する。

備考

ダストカバーにき裂又は損傷がある場合は、ボールジョイントの損傷につながる可能性がある。

整備作業中にダストカバーを傷付けた場合は、ダストカバーを交換する。





トーコントロールアームボールジョイント ダストカバーの交換

整備作業中に誤ってダストカバーを傷付けた場合のみ、次の要領でダストカバーを交換する。

1. ダストカバーを取外す。
2. ダストカバー内部及びリップ部に指定グリースを充てん及び塗布する。

二硫化モリブデン系シャシーグリース:

昭和シェル石油サンライトMB2、日石クラノックFL又は相当品

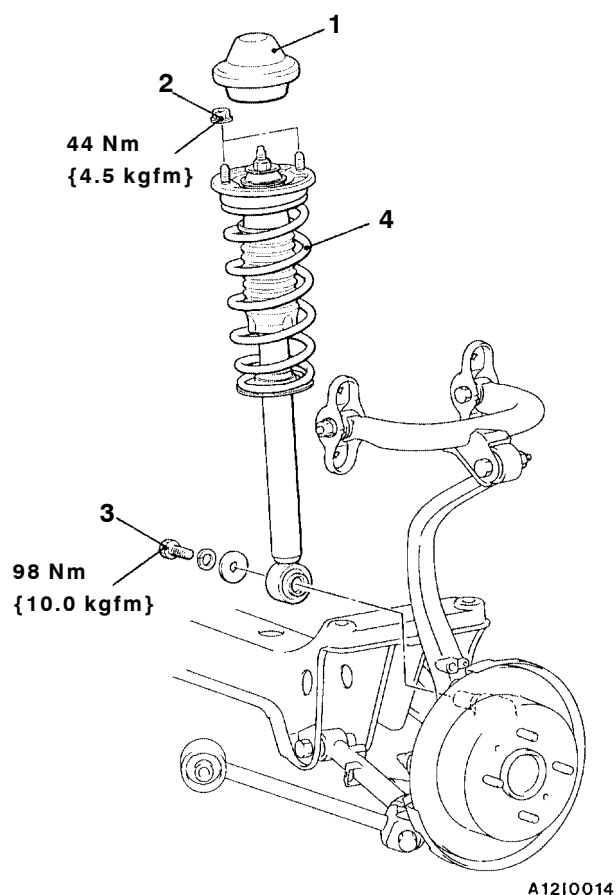
3. 特殊工具を使用して、ダストカバーをスナップリングに接する位置まで打込む。
4. ダストカバーにき裂又は損傷がないか、ダストカバーを指で押して点検する。

ショックアブソーバーAss'y

取外し・取付け

取外し前、取付け後の作業

- リヤシートの取外し、取付け <セダン>
(グループ52A参照)
- リトラクタートリムの取外し、取付け <ワゴン>
(グループ52A参照)



取外し手順

1. キャップ
2. ショックアブソーバー取付けナット

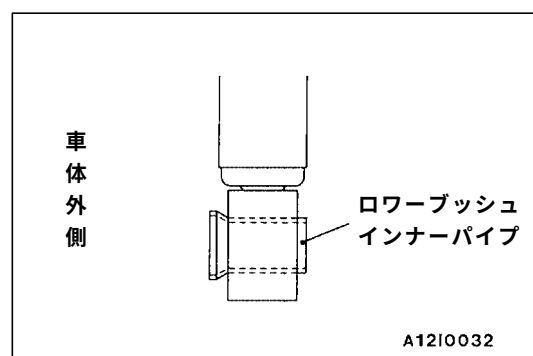
3. ボルト

▶A◀ 4. ショックアブソーバーAss'y

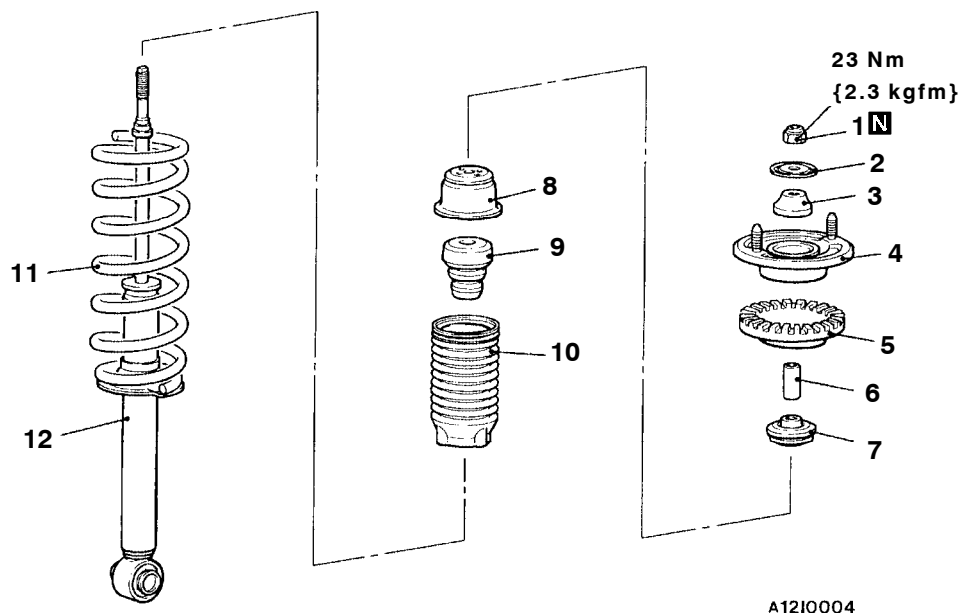
取付けの要点

▶A◀ ショックアブソーバーAss'yの取付け

ショックアブソーバーAss'yにあるロワーブッシュインナーパイプの大きい方を車体外側になるように取付ける。



分解・組立

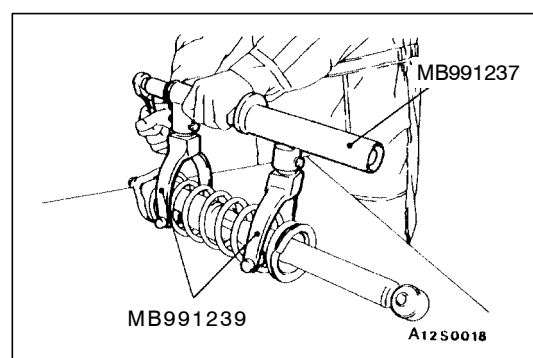


A12I0004

分解手順

- ◀A▶ ▶C▶ 1. セルフロックングナット
2. ワッシャー
3. アッパーブッシュ
▶B▶ 4. ブラケットAss'y
5. アッパースプリングパッド
6. カラー

7. アッパーブッシュ
8. キャップAss'y
9. バンプラバー
10. ダストカバー
▶A▶ 11. コイルスプリング
12. ショックアブソーバーAss'y



分解の要点

◀A▶ セルフロックングナットの取外し

1. 特殊工具を使用してコイルスプリングを圧縮する。

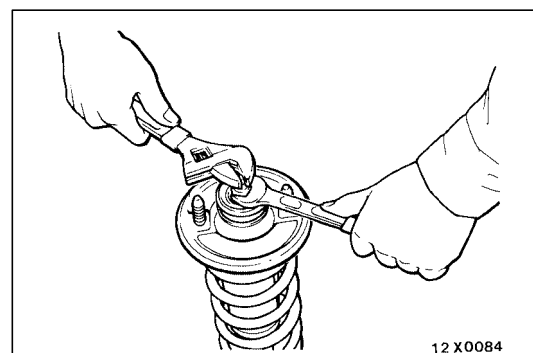
注意

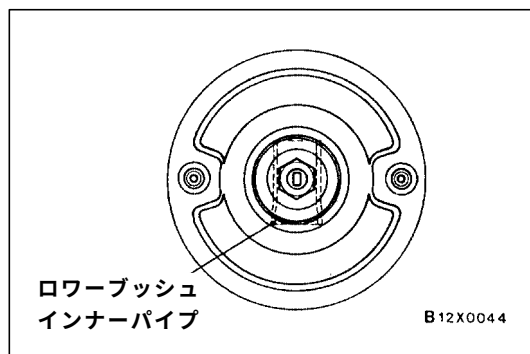
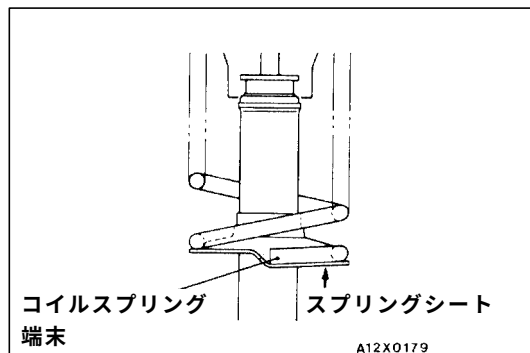
- (1) 特殊工具は取付けられる範囲で最大の長さになるようにし、均等に取付けること。
(2) 特殊工具のボルトの締付けはインパクトレンチを使用しないこと。

2. ピストンロッドの回り止めをしてセルフロックングナットを取外す。

注意

インパクトレンチは使用しないこと。





組立の要点

▶A◀ コイルスプリングの取付け

1. 特殊工具を取外し時のように取付け、コイルスプリングを圧縮し、ショックアブソーバーAss'yに取付ける。

注意

特殊工具のボルトの締付けはインパクトレンチを使用しないこと。

2. ショックアブソーバーAss'yのスプリングシート段付き箇所にもコイルスプリングの端末を合わせる。

▶B◀ ブラケットAss'yの取付け

ショックアブソーバーAss'yにあるロワーブッシュインナーパイプが図示位置になるように取付ける。

▶C◀ セルフロックングナットの取付け

1. セルフロックングナットを仮締めする。
2. 特殊工具 (MB991237, MB991239) を外してからセルフロックングナットを規定トルクで締め付ける。

注意

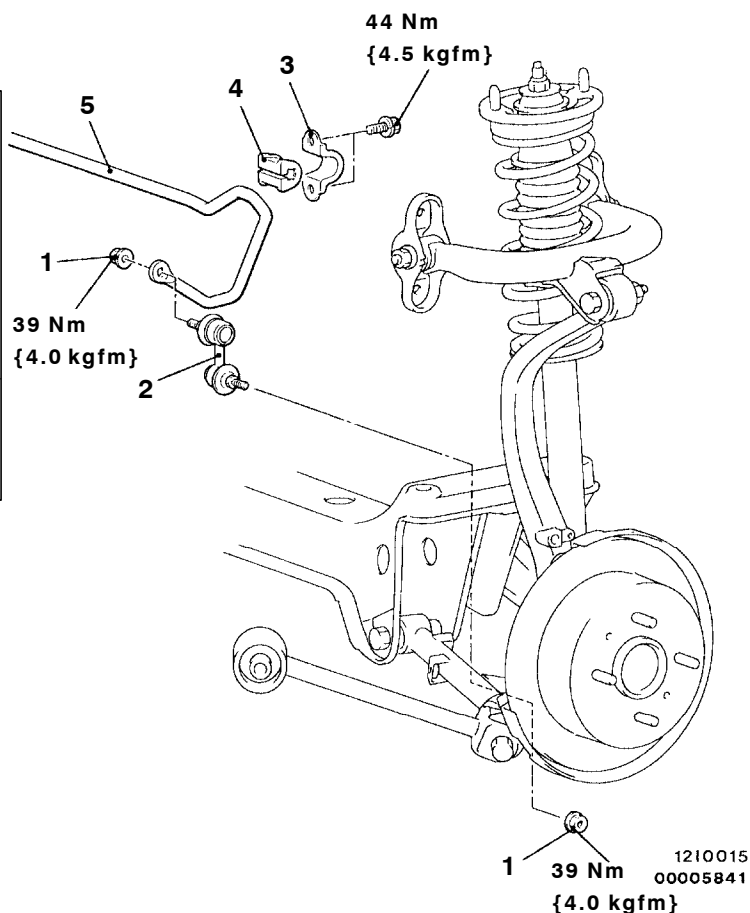
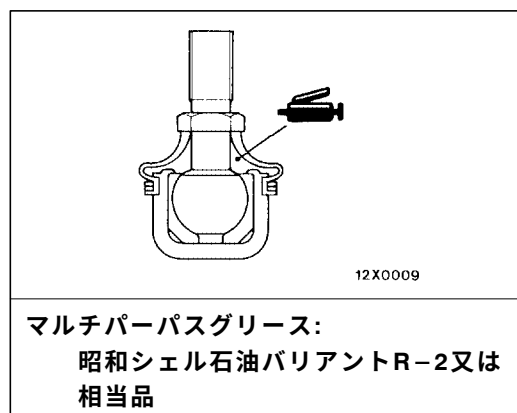
インパクトレンチは使用しないこと。

スタビライザーバー

取外し・取付け

取付け後の作業

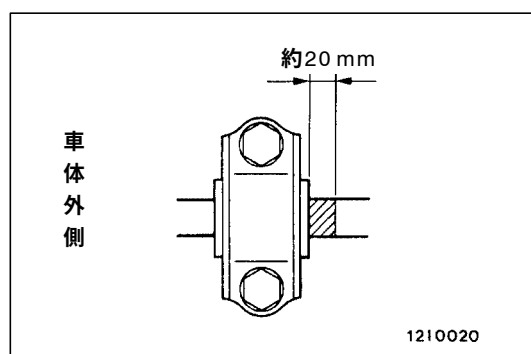
ダストカバーにき裂又は損傷がないか、ダストカバーを指で押して点検する。



取外し手順

1. スタビライザーリンク取付けナット
2. スタビライザーリンク
- ▶A◀ 3. スタビライザーバーブラケット

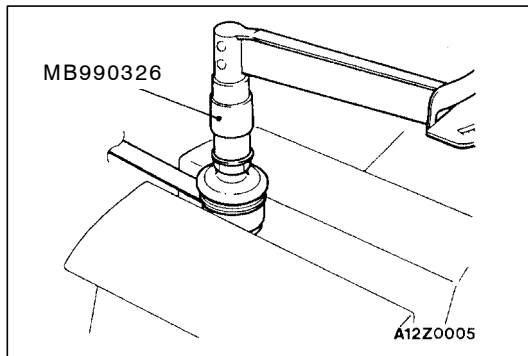
- ▶A◀ 4. ブッシュ
- ▶A◀ 5. スタビライザーバー



取付けの要点

- ▶A◀ スタビライザーバー、ブッシュ、スタビライザーバーブラケットの取付け

車両左側のスタビライザーバーの識別マークが図示位置になるように位置決めし、スタビライザーバーブラケット取付けボルトを締付ける。



点検

1. スタビライザーリンクボールジョイント回転トルクの点検

- (1) スタビライザーリンクボールジョイントのスタッドを数回揺動させた後、スタッドにナットを取付け、特殊工具を使用してスタビライザーリンクボールジョイントの回転トルクを測定する。

標準値: 0.5～1.5 Nm {5～15 kgfcm}

- (2) 測定値が標準値を超える場合は、スタビライザーリンクを交換する。
- (3) 測定値が標準値未満の場合は、スタビライザーリンクボールジョイントにがたやごりごり感がなければ使用可能と判断する。

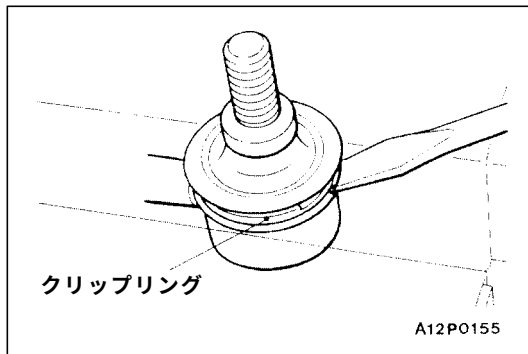
2. スタビライザーリンクボールジョイント ダストカバーの点検

- (1) ダストカバーにき裂又は損傷がないか、ダストカバーを指で押して点検する。
- (2) ダストカバーにき裂又は損傷があればスタビライザーリンクを交換する。

備考

ダストカバーにき裂又は損傷がある場合は、ボールジョイントも損傷している可能性がある。

整備作業中にダストカバーを傷付けた場合は、ダストカバーを交換する。



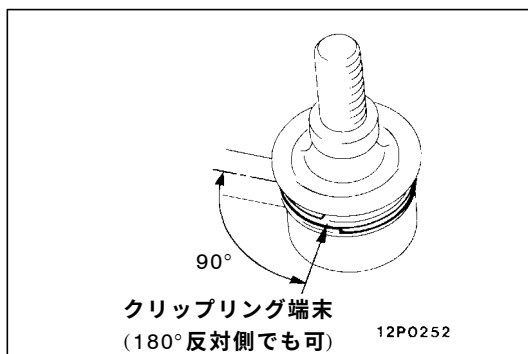
スタビライザーリンクボールジョイント ダストカバーの交換

整備作業中に誤ってダストカバーを傷付けた場合のみ、次の要領でダストカバーを交換する

1. クリップリングを外し、ダストカバーを取外す。
2. ダストカバー内部に指定グリースを充てん及び塗布する。

指定グリース:

昭和シェル石油バリエントR-2又は相当品



3. スタビライザーリンクのスタッドねじ部をビニールテープでテーピングしてダストカバーをスタビライザーリンクに取付ける。
4. クリップリングでダストカバーを固定する。このときクリップリングの端末がリンクの軸線に対して90°の位置になるように取付ける。
5. ダストカバーにき裂又は損傷がないか、ダストカバーを指で押して点検する。